

## かき菜・のらぼう菜の栽培

かき菜・のらぼう菜はともにアブラナ科の野菜です。とう立ちした花茎をつみとって食べます。再生力が旺盛なため、長期間収穫を楽しめます。茎はほんのり甘く、周りの葉の香りもあり、近年人気が高まっている野菜です。



(写真：故郷に残したい食材HPより)

- **畑の準備** は種の 2 週間前に、1 m<sup>2</sup>あたり苦土石灰を 150 g、たい肥を 2 k g 入れて耕す。化成肥料 (N-P-K : 8-8-8%) を約 150~200g 施す。
- **播種** は種 9 月~10 月下旬。条間 40cm にすじまきし、本葉 4 枚頃までに株間 40cm に間引く。(またはポット等で育苗し、定植する)
- **摘芯** 植え付けから 3 か月半くらいで、高さ 30cm くらいのところで主茎を摘芯する。(わき芽の生長が促され、柔らかい花茎の収穫ができ、長い間収穫ができる。)
- **収穫** とう立ちした花茎を収穫する。目安はつぼみがつき始めたころ。花茎を株元で切り取ると、次々にわき芽が出てくるので、収穫を続けられる。※花が咲いてしまうと味が落ちるので注意。

峡南農務事務所 農業農村支援課

(峡南地域普及センター) 生産振興担当

0 5 5 - 2 4 0 - 4 1 3 1